

## SecureZIP™ - データセントリック・セキュリティ

### データの「圧縮+アーカイブ+暗号化+認証」をZIP標準に基づくセキュア・データコンテナで実現

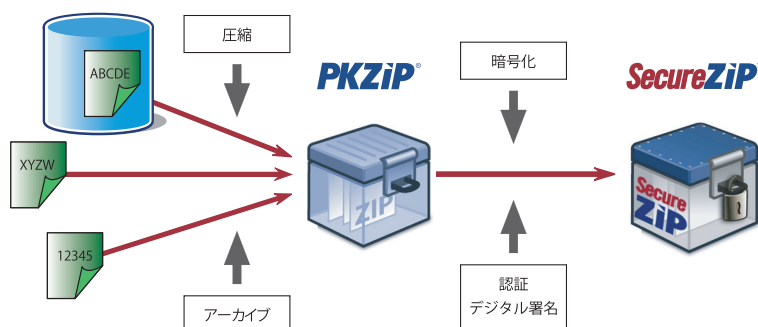
#### インフラストラクチャによるセキュリティから、データセントリック・セキュリティへ

これまで情報セキュリティとは、ファイアウォール、アンチウイルスなどの外的脅威対策や、アイデンティティ/アクセス管理による情報漏洩対策で、いわばインフラストラクチャによるセキュリティでした。しかし、これらの究極の目的は、機密データを保護することです。PKWARE® は、データ自身を保護し、データの完全性を保証するデータセントリック・セキュリティを提唱します。

データはあらゆるユーザ、プラットフォーム、デバイスを移動し、伝送路を通じ、または物理的メディアによって移動します。データセントリック・セキュリティは、データが存在するあらゆる局面でデータをシームレスに保護し、更にデータのライフサイクルにわたって一貫したセキュリティポリシーを適応させます。今日、個人情報や設計データなどの機密データは、「暗号化が望ましい」から「暗号化しなければならない」時代になりました。また、J-SOXなどのコンプライアンス（法令順守）を実現するには、データの完全性を保証しなければなりません。データセントリック・セキュリティは、これからのセキュリティの最重要課題です。

#### SecureZIP - ZIP標準に基づくセキュア・データコンテナ

SecureZIPは、20年以上の実績のあるデータ圧縮のZIP標準に、データセキュリティの機能を付加したセキュア・データコンテナです。ZIP標準では、データ圧縮・解凍のアルゴリズムのみならず、アーカイブ（書庫化）の機能も規定されています。これにより、データコンテナをクロスプラットフォームに容易に移動させられる可搬性、相互運用性が可能となります。また、ZIP標準に基づくデータコンテナは、導入、利用、運用し易いという利点があります。



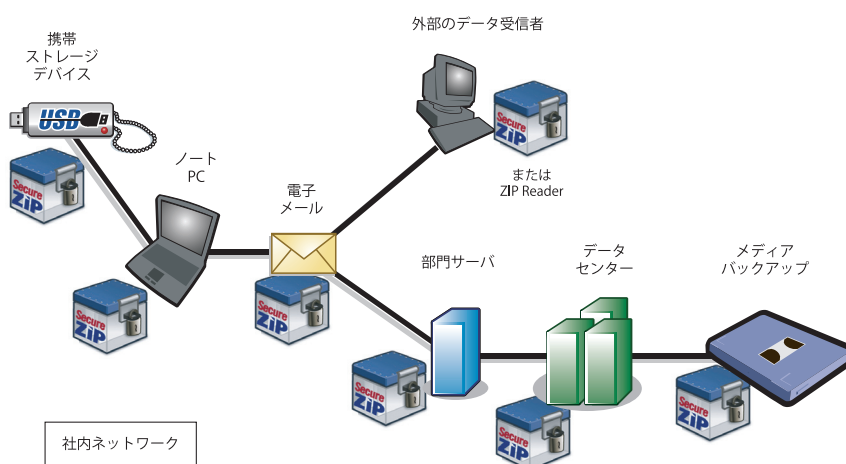
ポータブルで便利な“セキュア・ファイル・システム”

更に、SecureZIPは、暗号化と電子署名による強力なセキュリティ機能を提供します。暗号化機能は、業界標準であるRSA BSAFE® を使用し、様々な暗号化アルゴリズムをサポートしています。パスワードによる暗号化に加え、デジタル証明書を利用した暗号化、認証、デジタル署名の機能も提供します。これにより、ストレージ、メモリデバイス、伝送路などのあらゆる場所、局面において、一貫したセキュリティポリシーによる強固なデータセキュリティを実現できます。

## SecureZIPの導入事例

### 顧客情報や財務データの安全な保存

- 顧客情報、財務データを本部ホストに安全、確実に保存
- データの圧縮・アーカイブにより効率よく保存
- データの一部を社内部門サーバに安全に分割保存し、各部門でデータを有効活用
- データ転送時、保存時の両方における情報漏えい対策を一度に実現
- ユーザ認証による厳密なデータアクセス制御
- 暗号データのリカバリ処理等、コンプライアンス対策としてのデータ管理
- マルチプラットフォーム環境における永続的なデータセキュリティを実現

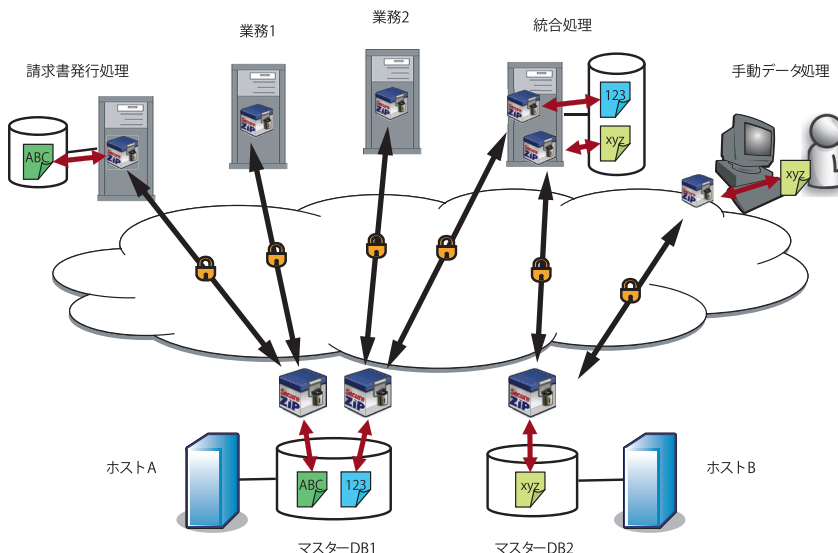


“企業がどんなに大規模であっても、またはオフサイトの施設がどんなに安全であっても、皆さんの大切なデータはトラックの荷台に積まれたテープに最終的に保存されるということが現実です。そのテープに何が起るか、誰にも分かりません。だからこそ、データを保護する必要があるのです。SecureZIPを利用すれば、データが最終的にどこに保管されようとも安全なのです。”

Mike Cunningham  
Standard Parking システムアナリスト

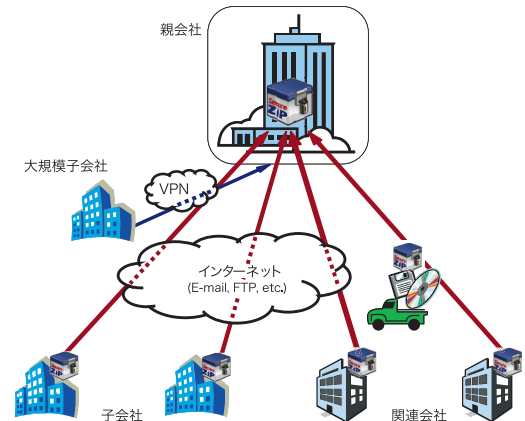
### 社内業務システム間でのデータ転送

- マスターデータベースから取り出した各種業務処理用システム向けデータの圧縮+アーカイブ+暗号化と転送
- データ転送効率の向上とデータのセキュリティを同時に実現
- 各種アプリケーションとの連携処理



## 連結決算財務データの集約

- 本社連結決算のために子会社、関連会社の財務データを定期的に集約
- ネットワークを介したオンライン転送、物理メディアによるオフライン配送など、データ移動時の環境に依存しないデータの安全性確保
- 小規模な会社でのセキュリティ投資の抑制
- データ輸送時のセキュリティを低コストで確実に実現
- データの完全性保証によるコンプライアンス対策



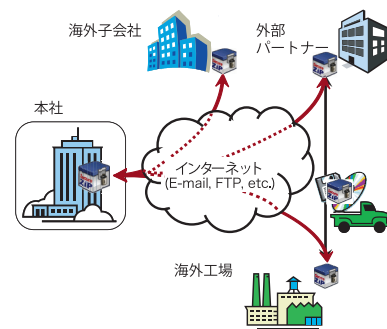
“私たちは既存のセキュリティアーキテクチャに直接SecureZIPを組み込んで、個人データや機密データを保護するようにしました。今日SecureZIPは、コンプライアンスを実現する欠かすことのできない機能となっています。”

Todd Frantz

Florida Hospital 研究開発部門 MISマネージャ

## 設計データの配送、共有

- 本社、海外子会社、外部パートナー、海外工場間での設計データのやり取り、共有
- 外部パートナーへ機密情報の送付時のセキュリティ確保
- オンライン、オフラインに関わらず安全にデータ配送
- データ圧縮による、必要なITリソースの削減効果
- 期待されないアクセスからのデータ保護



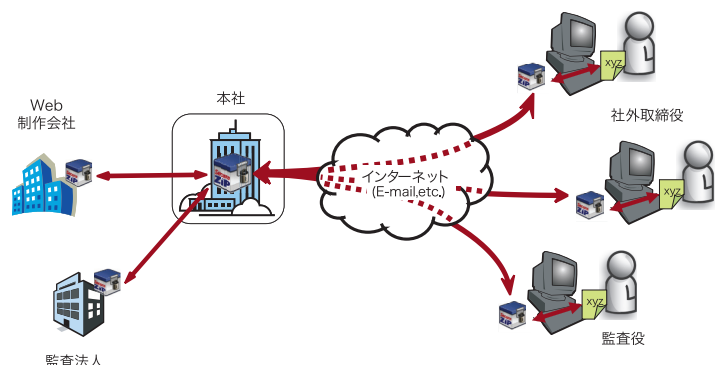
“SecureZIPは複雑なセキュリティの問題を解決するシンプルなソリューションです。”

Chris Christiansen

IDC、セキュリティ製品部門副社長

## 開示前のIR情報の送付

- 開示前の業績情報のやり取り
- 外部Web制作会社への機密データの安全な送付
- デジタル証明書を活用した、情報提供先の特定と認証
- デジタル署名によるデータの完全性保証



## SecureZIPの特長、優位性

### 1. 「データセントリック」で情報を暗号化

- SecureZIPは、データ、ファイルを汎用的に暗号化するので、インフラストラクチャに関係なく、あらゆる局面で情報(データ自身)を保護できます。
  - ▷ アプリケーションデータ、テキストデータ等種類を問わずに利用可能
  - ▷ AES や 3DES 等の強固な暗号アルゴリズムにより、データやファイル自身に暗号セキュリティを付加
  - ▷ X.509 デジタル証明書を使用すれば、ファイルごとに、ユーザ単位でのきめ細かで確実なアクセス制御やデジタル署名が可能
- 他の暗号化ソリューションでは、情報が保護されない局面が存在します。
  - ▷ 領域やデバイスの暗号化では、データがそこにとどまっているときしか保護されず、データを取り出した際には別の対策が必要(例: ハードディスク、ファイルシステム、デバイス、メモリ、データベースの暗号化)
  - ▷ 通信経路の暗号化は、伝送路内をデータが通っているときしか保護されず、サーバ等に到達してしまった後には別の対策が必要(例: SSL-VPN、IPsec VPN、SSL、Secure FTP)
  - ▷ データ、ファイルの特定用途での暗号化では、保護できるデータに制限(例: Adobe® Acrobat®、Microsoft® Office などのアプリケーション、暗号化 E-メール (S/MIME)、PGP)

### 2. 暗号化されたデータのポータビリティ (可搬性)

- データファイルは ZIP コンテナに格納されているため、ZIP コンテナをコピーしたり転送するだけで、セキュリティを確保したままデータを容易に持ち運ぶことができます。
- システムから外部に取り出した際にも、そのままセキュリティが確保されています。
- メインフレームからデスクトップまで、様々なプラットフォーム・環境で動作します。
- ツールを導入せずに、暗号化されたデータをやり取りする仕組みがあります。

### 3. セキュリティレベルの選択、拡張性

- 用途や利便性に応じて、セキュリティレベルを選択できます。
  - ▷ パスワードによる暗号化データの保護
  - ▷ スマートカードやデジタル証明書の活用
  - ▷ 上述の環境を混在させて利用
- データの保存時、移動時を問わず、様々な局面で、統一されたセキュリティを確保できます。

### 4. 標準のサポートと、豊富な実績や互換性

- 実績のある標準の暗号化アルゴリズムを使用しています。
  - ▷ AES や 3DES などの標準アルゴリズムを利用可能
  - ▷ セキュリティ機能のエンジンには、RSA BSAFE® を使用
- 様々なプラットフォーム上で実績と互換性のある ZIP フォーマットを使用しています。

#### SecureZIPがサポートする 主要プラットフォーム

- Microsoft Windows® 98, Windows NT® 4.0 (SP6), Windows 2000 (SP4), Windows XP (SP2)
- Microsoft Windows Server® 2003, Windows 2000 Server
- HP HP-UX 11.0以降 (PA-RISC、Itanium®)
- IBM® AIX 5L™ V5.1以降
- Sun Solaris™ 8以降 (UltraSPARC® プラットフォーム)
- Linux® カーネル2.4以降
- IBM System i (OS/400® V5R1M0以降, i5/OS®)
- IBM System z (OS/390® 2.10, z/OS®)

#### PKWAREについて

PKWAREは、「データセントリック」セキュリティ・ソリューションのリーディングプロバイダです。PKWAREの「PK」はZIPの開発者Phil Katzのイニシャルであり、1986年の創設以来、ZIP標準の開発企業として「PKZIP」を全世界で12,000を超える企業に対し提供してきました。2004年、PKWAREはZIPアーカイブに強力な暗号化機能、認証機能を付加した「SecureZIP」をリリースしました。2006年、日本のデータセキュリティのニーズに応えるため日本法人を設立しました。PKWAREは、今日の複雑なデータセキュリティの問題を解決するシンプルなソリューションを提供しています。

お問い合わせ先はこちらです

**XLISOFT** **エクセルソフト** 株式会社  
www.xlsoft.com

〒108-0014 東京都港区芝5-1-9 プゼンヤビル4F  
TEL: 03-5440-7875 FAX: 03-5440-7876  
E-mail: xlsoftkk@xlsoft.com

**PKWARE**®  
Trusted ZIP Solutions for the Enterprise

www.pkware.com      www.pkware.co.jp

ピーケーウェア・ジャパン株式会社  
〒150-0043  
東京都渋谷区道玄坂1-12-1 渋谷マークシティ22階  
Tel 03-4360-5487 Fax 03-4360-5786  
info-jp@pkware.com